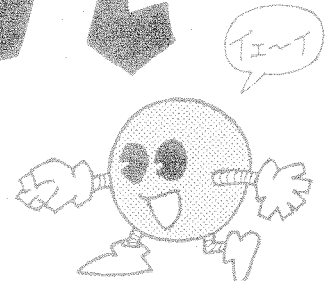
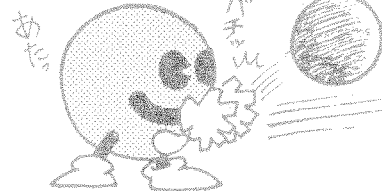
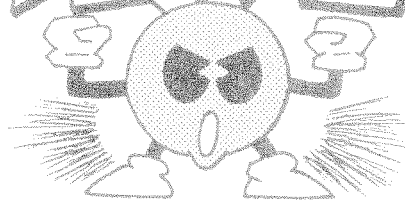


復活ボンバー



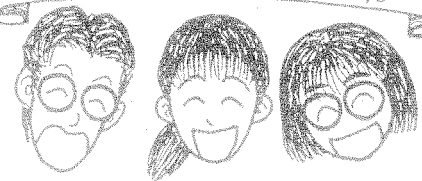
復活ボンバーとは

“復活ボンバー”とは、従来、子どもたちが行っている“かたき”を原形としたもので、その“かたき”に学年差や男女差を考慮したハンデールなどをつけかわえたものです。かたきと最も違う点は、投げたボールをノーバウンドでとられてもアウトになるという点です（数年前、地方の児童館でやっていたのを参考にさせていただきました）。

ハンデがあることや柔らかいボールを使うということで、小1から大人まで女子も男子も関係なく十分に楽しめます。また、投げてきたボールをノーバウンドでとればアウトにできるので、より積極的にキャッチしにいきます。ゆえに、ボール遊びの基本となるキャッチングの技術が自然と高くなります。

“復活ボンバー”という名称にしたのは“かたき”ということばの印象がよくないと考えたからです。復活ボンバーという名称変更に伴い、かたきではよく使われていた「死ぬ!」「殺せ!」など言わせないように指導しています。

ルールの制定および名称考案は
'96 円山町児童会館職員'S



人数

10人以上(目安)

場所

体育室全面を使用

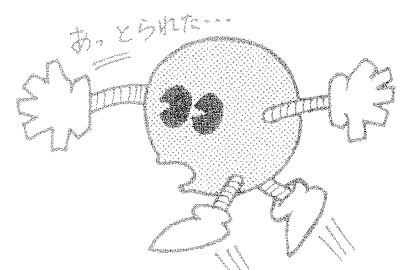
準備

キャンディーボール(1個)、ホイッスル(審判用1個)

概要

自分以外は全員敵。ボールをぶついたり、投げてきたボールをノーバウンドでキャッチするなどしてアウトにし、プレーヤーが1人になった時点、若しくは適当な時間で終了。

よっしゃ〜
キミがアウトだ!

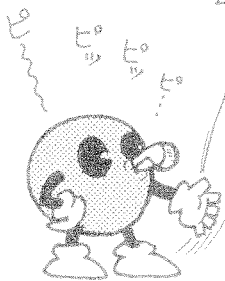


復活ボンバー

ルール

スタート

1. スタート時、参加者はそれぞれ、体育室(用具室以外)のどこにいてもよい。
2. 審判がコート中央でボールを投げ上げる。(長いホイッスルの後、ボールを投げ上げる)
3. 投げ上げられたボールが3バウンドしたらスタート。だれが取ってもよい。(3バウンドに合わせてホイッスルを鳴すと周知できる)
4. 3バウンドし終わる前にボールに触れた場合はアウト。この場合、3バウンドスタートをもう一度やり直す。アウトになった者は、リスタート後の最初のアウト者がマタるときに復活できる。



アウト

1. ボールがノーバウンドでぶつけられた場合
2. 投げたボールをノーバウンドでとられた場合

以上の2つのケースでアウトになった者は、自分をアウトにした人を覚えておく。

※ ダブル、トリプルアウトはナシ。最初にあたった者だけアウト。

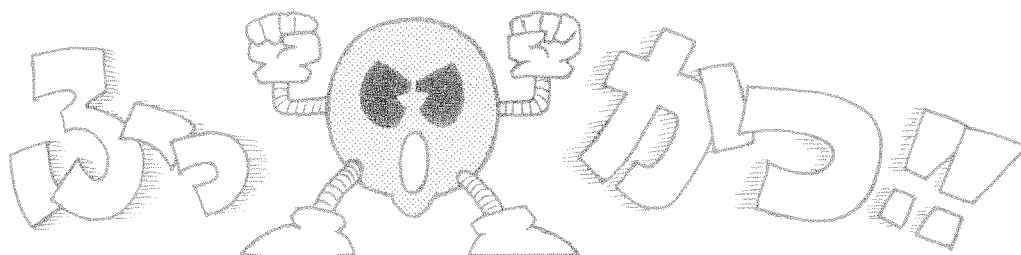
※ 顔面にあたった場合はセーフだが、頭にあたった場合はアウト。

アウトになった者のルール

1. アウトになった者は、体育室の壁面にそったところに座っていること。
2. アウトになって座っている者は、ボールがとんできて、できるだけ触らないようにする。(よける)

復活

自分をアウトにした人がアウトになったら「復活」できる。



復活ボンバー

反則

1. パスをする。(バウンドパスなどで)
2. チームをつくる。
3. ボールを故意に蹴ったり、口で吹いたりして動かす。
4. 投げたボールが入にあたらず、壁などにあたって戻ってきたものとする。(間違えてとってしまったら、そこにボールを置いて逃げる)
5. 遅延行為
 - ・ 敵のいないところに意図してボールを投げる。
 - ・ 投げてもアウトにする自信がなくてボールをその場に置いて逃げる。
6. ハンデ(以下に記載)を守らない場合。

以上、この6つの反則に対して 最初は、注意・警告。何度も続く場合は退場。

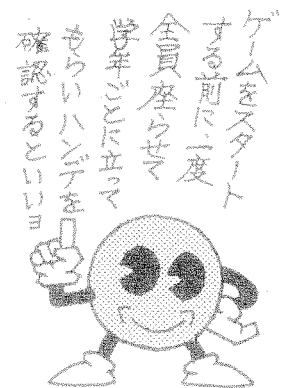
終了

1. セーフの着が1人だけになった時点で終了。
2. 人数が多いなどでなかなか終了しない場合は、頃合いを見計らって終了させる。(1ゲーム10分を目安)

ハンデ

ボールを持ってから歩ける歩数

	男子	女子
1~2年生	4歩	4歩
3~4年生	2歩	3歩
5~6年生	1歩	3歩
中学生以上	0歩	1歩



※ 中・高生の男子には場合によっては、利き手以外の手で投げさせる、というハンデをつける。

※ 何回も同じ子がチャンピオンになるようであれば、その子だけハンデを重くする。

指導員も審判やりながら参加できるよ! 楽しい! 「本当?」, 本当だよ。 「本当?」, 本当だよ……

とにかくやってみては。